四国

四国の鮮力拠点

災害に強い屋根材 フル生産

川上板金工業所

強度とデザイン性両立

屋根材を手掛ける川上板金工業所（香川県まんのう町）が台風や災害に強い製品で存在感を高めている。本社に併設する工場はフル稼働が続き、西日本を中心に出荷。通常より2割増しの強度に加え、無駄のない機能美で、工場や倉庫向けの屋根材分野に革新をもたらしている。

四国屈指の観光地、こんぴら温泉から2キロほど、田畑や住宅が混在する一画に、人の身長を優に超える細長い棒状のものが並んでいる。アルミニウムなどから成る合金めっき鋼板で、同社主力の折板屋根だ。コイル状に巻かれた原材料から成型機を通し仕上げる。

自然災害に強い屋根材の生産が増え工場は手狭になってきた

最大の特徴は溝型の構造の側面に、内側に向かってやや食い込む「くびれ」があることだ。そのくびれに吹き上げ防止金具を引っかけるように取り付ける。上部だけを固定する従来工法より、強風や突風に見舞われた際に、引っ張られたり持ち上げられたりして変形し飛散するリスクを軽減、強度は2割増した。

《川上板金工業所の概要》

▽住　所	香川県まんのう町四条858の1
▽創　業	1934年6月1日
▽工場・倉庫	延べ床面積2000平方㍍
▽従業員	35人
▽特　徴	約30台の成型機を使い分け、屋根や壁の外装材を1日15～20トン生産

5年の研究経て

同社が独特の屋根材を開発するきっかけは、2004年に県内でも死者を出した台風被害だ。体育館の屋根の鋼板がはがれ飛ばされた惨状を目の当たりにし、「新たな屋根材の必要性を痛感し、自然災害に強い製品への試行錯誤が始まった」（川上正城社長）。

約5年の研究を重ね、最初の製品を10年2月に送り出す。耐風、耐震、耐火で強度を高めながら、デザイン性も重視する。長年、使われながら改良が乏しかった屋根材分野に変化をもたらした。側面にさざ波を入れて陰影を持たせるなど進化を重ね、今年4月には最新作「クローザーZ」を発売した。

住宅や倉庫、コンビニ、小規模工場向けに、新規建築だけでなく、破損した屋根にもカバーできるので、既存の建物でも改修にとどまらない再強化が可能だ。「強さがデザインを生んだ」などと評価され、日本デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞」の常連に育っている。

売上高の6～7割

工場のラインは3つ。成型機は業界では珍しい可動式を導入し、一定のサイズまでランダムに生産できる。サイズにバリエーションが持てることで顧客の多様なニーズに対応しやすくなった。省スペースや作業員の操作性も向上した。

創業80年を超え、皇居の屋根工事に携わるなど技術の確かさには定評があった。売り上げの6、7割を占めるクローザーシリーズは東日本大震災の被災地で製紙工場に採用されるなど販路が拡大。すでに約70万平方㍍という東京ドーム15個分が活躍中だ。

毎年のように起きる自然災害への関心の高まりとともに、引き合いは増えている。別拠点の生産ライン拡充も検討中だ。会社の規模にしては1級建築士が4人いる潤沢さも独創性ある商品を生み出すには強み。一見地味な屋根材だが「安全で豊かな生活を提案し続けていきたい」（川上社長）と挑戦する姿勢に揺るぎはない。

（高松支局　深野尚孝）

支局☎

高知	松山	徳島	高松
0888	0889	0887	0878
8972	9452	6531	6532
2334	0343	2343	2343
4904	4904	4804	4904